

目次

近畿大学理工学部

<エネルギー物質学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	12
4. 既設大学等の状況	13
5. 教員組織の状況	19
6. 附帯事項等に対する履行状況等	40
7. その他全般的事項	41

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人近畿大学

(2) 大学名

近畿大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒577-8502

大阪府東大阪市小若江3丁目4番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(セコウ ヒロシゲ) 世耕 弘成 (令和元年9月)		
学長	(ホソイ ヨシヒコ) 細井 美彦 (平成30年4月)		
学部長	(ヤマグチ ヨシヒロ) 山口 仁宏 (平成30年10月)		
学科長等	(スドウ アツシ) 須藤 篤 (令和4年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和3年度に報告済の内容 → (3)
令和4年度に報告する内容 → (4)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください(作成方法は、事務連絡「令和4年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」を確認してください)。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和4年度までの5年間)ですが、完成年度を越えている場合は別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
理工学部 エネルギー物質学科 学士(理工学)	理学関係 工学関係	4 年	120 人	— 人	480 人	新規入学者を募集集中	【基礎となる学部等】 理工学部電気電子通信工学科

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	120人 —人	() []	0.94倍	—倍	
志願者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	1,818 —	() []			
受験者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	1,632 —	() []			
合格者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	864 —	() []			
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	113 —	() []			
入学定員超過率 B/A	—	—	—	—	—	—	—	—	0.94	—			

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次									113 [1]	- [-]	
2年次											
3年次											
4年次											
計									113 [1] (-)		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	人	人	平成30年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	113人	0人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	0人	0人	
合計		0人		0人	0人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{113} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
												修
全学共通科目	ドイツ語	ドイツ語総合1	1前	1								2
		ドイツ語総合2	1後	1								2
		ドイツ語総合3	2前	1								1
		ドイツ語総合4	2後	1								1
		小計(4科目)	—	0	4	0	0	0	0	0	0	0
	フランス語	フランス語総合1	1前	1								1
		フランス語総合2	1後	1								1
		フランス語総合3	2前	1								1
		フランス語総合4	2後	1								1
		小計(4科目)	—	0	4	0	0	0	0	0	0	0
	中国語	中国語総合1	1前	1								4
		中国語総合2	1後	1								4
		中国語総合3	2前	1								1
		中国語総合4	2後	1								1
		海外語学研修(中国語)	1-2-3-4通	2								1
	小計(5科目)	—	0	6	0	0	0	0	0	0	0	7
	韓国語	韓国語総合1	1前	1								1
		韓国語総合2	1後	1								1
		韓国語総合3	2前	1								1
		韓国語総合4	2後	1								1
海外語学研修(韓国語)		1-2-3-4通	2								1	
小計(5科目)	—	0	6	0	0	0	0	0	0	0	3	
ロシア語	ロシア語1	1前		1							1	
	ロシア語2	1後		1							1	
	海外語学研修(ロシア語)	1-2-3-4通	2								1	
小計(3科目)	—	0	2	2	0	0	0	0	0	0	1	
学部基礎科目	基礎物理学および演習	1前	3			1						
	物理学概論および演習 I	1前	3			1						
	基礎化学および演習	1前	3			1						
	基礎生物学	1前	2				1					
	微分積分学 I	1前	2								1	
	線形代数学 I	1前	2								2	
	情報処理実習 I	1前・後	1								2	
	情報システム基礎	1前		2							1	
	物理学および演習	1後	3			1						
	物理学概論および演習 II	1後	3			1						
	化学	1後	2			1						
	生物学	1後	2				1					
	微分積分学 II	1後	2								1	
	線形代数学 II	1後	2								1	
	情報処理実習 II	1後・2前	1								2	
	情報システム応用	1後		2							1	
	情報処理演習	2前・後	1								1	
	インターンシップ	1-2-3-4通	2			1						
	社会奉仕実習	1-2-3-4通	1			1						
小計(19科目)	—	0	35	4	3	4	1	0	0	0	8	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
												修
全学共通科目	ドイツ語	ドイツ語総合1	1前	1								1
		ドイツ語総合2	1後	1								1
		ドイツ語総合3	2前	1								1
		ドイツ語総合4	2後	1								1
		小計(4科目)	—	0	4	0	0	0	0	0	0	0
	フランス語	フランス語総合1	1前	1								1
		フランス語総合2	1後	1								1
		フランス語総合3	2前	1								1
		フランス語総合4	2後	1								1
		小計(4科目)	—	0	4	0	0	0	0	0	0	0
	中国語	中国語総合1	1前	1								2
		中国語総合2	1後	1								2
		中国語総合3	2前	1								1
		中国語総合4	2後	1								1
		海外語学研修(中国語)	1-2-3-4通	2								1
	小計(5科目)	—	0	6	0	0	0	0	0	0	0	5
	韓国語	韓国語総合1	1前	1								1
		韓国語総合2	1後	1								1
		韓国語総合3	2前	1								1
		韓国語総合4	2後	1								1
海外語学研修(韓国語)		1-2-3-4通	2								1	
小計(5科目)	—	0	6	0	0	0	0	0	0	0	3	
ロシア語	ロシア語1	1前		1							1	
	ロシア語2	1後		1							1	
	海外語学研修(ロシア語)	1-2-3-4通	2								1	
小計(3科目)	—	0	2	2	0	0	0	0	0	0	1	
学部基礎科目	基礎物理学および演習	1前	3			1						
	物理学概論および演習 I	1前	3			1						
	基礎化学および演習	1前	3			1						
	基礎生物学	1前	2				1					
	微分積分学 I	1前	2								1	
	線形代数学 I	1前	2								2	
	情報処理実習 I	1後	1						1			
	情報システム基礎	1前		2							1	
	物理学および演習	1後	3			1						
	物理学概論および演習 II	1後	3			1						
	化学	1後	2			1						
	生物学	1後	2				1					
	微分積分学 II	1後	2								1	
	線形代数学 II	1後	2								1	
	情報処理実習 II	2前	1								1	
	情報システム応用	1後		2							1	
	情報処理演習	2前・後	1								1	
	インターンシップ	1-2-3-4通	2			1						
	社会奉仕実習	1-2-3-4通	1			1						
小計(19科目)	—	0	35	4	4	3	1	0	0	0	8	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	専任教授	准教授	講師	助教	助手			
専攻科目	化学数学演習	1前	1			1	2						
	物理数学演習	1後	1			1	1	1					
	数理解析演習	2前	1			1	1	1					
	基礎化学情報処理	2前	1			2	1	1					
	数理解析演習	2後	1			1	2	1					
	インフォマティクス実習	3前	1			1	1	1					
	エネルギー工学演習	3前	1			1	1	1					
	機器分析化学演習	3前	1			1	1	1					
	計測物理学演習	3前	1			1	1	1					
	エネルギー物質概論	1前	2			6	6	3					
	エネルギー物質物理学概論	1後	2			1	1	1					
	エネルギー物質化学概論	1後	2			3							
	次世代インフラエネルギー概論	2前	2				3						
	基礎エネルギー物理学	2後	2			1	2						
	基礎環境エネルギー科学	2後	2									2	
	エネルギー物質化学1	2前	2			3							
	エネルギー物質化学2	2後	2			3							
	量子化学	2後	2					1					
	ライフデバイスエネルギー物理学	2前	2			1	1						
	基礎電子デバイス物理学	2後	2			1	1	1					
	基礎生体物理学	2後	2			1	1	1					
	バイオエネルギー工学	1前	2								1		
	基礎物理学実験	1前	1			2	1						
	基礎化学実験	1前	1			2	1						
	エネルギー物質化学実験	1後	2			2	1						
	エネルギー物質物理学実験1	2前	2				3						
	エネルギー物質物理学実験2	2後	2			1	1	1					
	エネルギー物質生物学実験	3前	2			1	1	2					
	エネルギー物質ゼミ1	2前	1			4	1	3					
	エネルギー物質ゼミ2	2後	1			2	5						
	エネルギー物質ゼミ3	3前	1			6	6	3					
	エネルギー物質ゼミ4	3後	1			6	6	3					
	卒業研究ゼミナール	3後	1			6	6	3					
	卒業研究	4通	8			6	6	3					
	エンジニアリングデザイン実習	1・2・3・4通			12	3	1	1				9	
	国際プロジェクトマネジメント実習	1・2・3・4通			12							1	
	理工学国際ゼミナール	1・2・3・4通			8	3	1	1				8	
	小計(37科目)			53	5	32	6	6	3	0	0	12	
	エネルギー次世代インフラ領域(※1)	物質熱力学	3前		2		1	1					2
		量子線物理・工学	3前		2								
エネルギー発電・伝送工学		3前		2		1						1	
原子エネルギー物理・工学		3前		2		1	1						
水素エネルギー工学		3後		2		1							
原子核物理学		3後		2		1							
インフラマテリアル工学		3後		2		1							
高電圧プラズマ物理・工学		3後		2		1							
放射化学		3後		2		1							
小計(9科目)				18	0	3	2	0	0	0	0	3	
マテリアル創製領域(※2)	機能材料化学	3前		2			2						
	生体物質化学	3前		2		1	1						
	分子反応化学	3前		2		1	1						
	分子機能化学	3前		2		1	1						
	高分子材料工学	3後		2		1							
	計算生体物質化学	3後		2			1						
	光電子機能化学	3後		2		1							
	量子分子工学	3後		2		1							
	分子デバイス工学	3後		2		1							
	小計(9科目)			18	0	2	4	2	0	0	0	0	
エネルギーライフデバイス領域(※3)	電子デバイス物理学	3前		2		1							
	生物センサ概論	3前		2		1	1						
	生物メカニクス概論	3前		2			1						
	熱機関物理学	3前		2		1							
	光電変換デバイス工学	3後		2		1							
	生体情報工学	3後		2			1						
	生物デバイス工学	3後		2		1							
	生物メカニクス工学	3後		2			1						
	エネルギー変換工学	3後		2		1							
小計(9科目)			18	0	1	2	2	0	0	0	0		
合計(148科目)			86	173	38	6	6	3	0	0	97		
卒業要件及び履修方法													
共通教養科目から15単位以上(必修科目7単位)、外国語科目から14単位以上(必修科目8単位)、及び専攻科目から95単位以上(学部基礎科目選択必修7単位及び選択4単位、学科共通開講科目必修53単位、主とする領域18単位及び他の領域8単位を選択必修)修得し、124単位以上修得すること。(履修科目の登録の上限:半期24単位、年間48単位)													
※1:次世代インフラエネルギー領域を主領域とする学生は必修。他の学生は8単位修得													
※2:マテリアル創製領域を主領域とする学生は必修。他の学生は8単位修得													
※3:ライフデバイスエネルギー領域を主領域とする学生は必修。他の学生は8単位修得													

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	専任教授	准教授	講師	助教	助手		
専攻科目	化学数学演習	1前	1			2	1					
	物理数学演習	1後	1			2	2					
	数理解析演習	2前	1			1	1	1				
	基礎化学情報処理	2前	1			2	1	1				
	数理解析演習	2後	1			1	2	1				
	インフォマティクス実習	3前	1			1	1	1				
	エネルギー工学演習	3前	1			2	2					
	機器分析化学演習	3前	1			1	1	1				
	計測物理学演習	3前	1			1	1	1				
	エネルギー物質概論	1前	2			7	6	2				
	エネルギー物質物理学概論	1後	2			2	2	1				
	エネルギー物質化学概論	1後	2			3						
	次世代インフラエネルギー概論	2前	2			1	2					
	基礎エネルギー物理学	2後	2			2	1					
	基礎環境エネルギー科学	2後	2									2
	エネルギー物質化学1	2前	2			3						
	エネルギー物質化学2	2後	2			3						
	量子化学	2後	2					1				
	ライフデバイスエネルギー物理学	2前	2			1	1					
	基礎電子デバイス物理学	2後	2			1	1	1				
	基礎生体物理学	2後	2			1	1	1				
	バイオエネルギー工学	4前	2								1	
	基礎物理学実験	1前	1			2	1					
	基礎化学実験	1前	1			2	1					
	エネルギー物質化学実験	1後	2			2	1					
	エネルギー物質物理学実験1	2前	2			1	2					
	エネルギー物質物理学実験2	2後	2			1	1	1				
	エネルギー物質生物学実験	3前	2			1	2	1				
	エネルギー物質ゼミ1	2前	1			4	2	2				
	エネルギー物質ゼミ2	2後	1			3	4					
	エネルギー物質ゼミ3	3前	1			7	6	2				
	エネルギー物質ゼミ4	3後	1			7	6	2				
	卒業研究ゼミナール	3後	1			7	6	2				
	卒業研究	4通	8			7	6	2				
	エンジニアリングデザイン実習	1・2・3・4通			12							1
	国際プロジェクトマネジメント実習	1・2・3・4通			12							1
	理工学国際ゼミナール	1・2・3・4通			8							1
	地学概論Ⅰ	2前			2							1
	地学概論Ⅱ	2後			2							1
	地学実験	2後			1							1
小計(40科目)			53	10	32	7	6	2	0	0	5	
エネルギー次世代インフラ領域(※1)	物質熱力学	3前		2		2						2
	量子線物理・工学	3前		2								
	エネルギー発電・伝送工学	3前		2			1					1
	原子エネルギー物理・工学	3前		2		2						
	水素エネルギー工学	3後		2		1						
	原子核物理学	3後		2		1						
	インフラマテリアル工学	3後		2		1						
	高電圧プラズマ物理・工学	3後		2		1						
	放射化学	3後		2		1						
	小計(9科目)			18	0	4	1	0	0	0	0	3
マテリアル創製領域(※2)	機能材料化学	3前		2		1	1					
	生体物質化学	3前		2		1	1					
	分子反応化学	3前		2		1	1					
	分子機能化学	3前		2		1	1					
	高分子材料工学	3後		2		1						
	計算生体物質化学	3後		2			1					
	光電子機能化学	3後		2		1						
	量子分子工学	3後		2		1						
	分子デバイス工学	3後		2		1						
	小計(9科目)			18	0	3	5	1	0	0	0	0
エネルギーライフデバイス領域(※3)	電子デバイス物理学	3前		2		1						
	生物センサ概論	3前		2			1	1				
	生物メカニクス概論	3前		2			1					
	熱機関物理学	3前		2		1						
	光電変換デバイス工学	3後		2		1						
	生体情報工学	3後		2			1					
	生物デバイス工学	3後		2			1					
	生物メカニクス工学	3後		2			1					
	エネルギー変換工学	3後		2		1						
小計(9科目)			18	0	1	2	2	0	0	0	0	
合計(152科目)			86	180	38	7	6	2	0	0	83	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(任、担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の上に「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「**臨地実務実習**」による授業科目には「【臨】」、「**連携実務演習**」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和4年度】

<p>・ 専任教員の昇格人事(大塚准教授→大塚教授、川下講師→川下准教授)により、以下の担当授業科目の職位人数を変更 「基礎ゼミ1」「基礎ゼミ2」「科学技術英語2」「基礎物理学および演習」「化学数学演習」「物理数学演習」「基礎化学情報処理」「数理情報処理」「エネルギー工学演習」「エネルギー物質概論」「エネルギー物質物理学概論」「次世代インフラエネルギー概論」「基礎エネルギー物理学」「量子化学」「エネルギー物質物理学実験1」「エネルギー物質生物学実験」「エネルギー物質ゼミ1」「エネルギー物質ゼミ2」「エネルギー物質ゼミ3」「エネルギー物質ゼミ4」「卒業研究ゼミナール」「卒業研究」「物質熱力学」「原子エネルギー物理・工学」「インフラマテリアル工学」「機能材料化学」「計算生体物質化学」「情報処理基礎」</p> <p>・ 共通教養科目における全学的な取組みのため「データリテラシー入門」を新規で追加 ・ 教職課程認定申請時の指摘事項対応のため、「地学概論Ⅰ」「地学概論Ⅱ」「地学実験」の科目を追加 ・ 授業運営上の都合により、配当学年・開講期を変更 「環境と社会」「技術と倫理」「教養特殊講義A」「住みよい社会と福祉」「現代社会と法」「資源とエネルギー」「教養特殊講義B」「国際経済と企業の国際化」「国際社会と日本」「国際化と異文化理解」「ビジネスモデルとマネジメント」「教養特殊講義C」「科学的問題解決法」「食生活と健康」「情報処理実習Ⅰ」「情報処理実習Ⅱ」「健康とスポーツの科学」 ・ 履修の利便性と学修効果を考慮し「バイオエネルギー工学」の配当学年を変更 ・ 受講者数減によるクラス数変更および授業運営上の理由により、科目担当者人数を変更 「教養特殊講義A」「教養特殊講義C」「英語演習1」「英語演習2」「オーラルイングリッシュ1」「オーラルイングリッシュ2」「ドイツ語総合1」「ドイツ語総合2」「エンジニアリングデザイン実習」「理工学国際ゼミナール」「情報処理実習Ⅰ」「情報処理実習Ⅱ」 ・ 上記の変更等に伴い、以下の合計を変更 合計科目数 変更前「148科目」 変更後「152科目」 単位数(選択) 変更前「173」 変更後「180」 教授 変更前「6」 変更後「7」 講師 変更前「3」 変更後「2」 兼任・兼任 変更前「97」 変更後「83」</p>
--

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
40 科目	101 科目	7 科目	148 科目	40 科目 [0]	105 科目 [4]	7 科目 [0]	152 科目 [4]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{148} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	近畿大学短期大学部・ 近畿大学短期大学部通 信教育部（必要面積 1,600㎡）と共用。 土地売却による面積の 変更（4）			
	校舎敷地	597,646㎡	146,434㎡	㎡	744,080㎡				
	運動場用地	98,831㎡ 98,830㎡	321,841㎡	㎡	420,672㎡ 420,671㎡				
	小 計	696,477㎡ 696,476㎡	468,275㎡	㎡	1,164,752㎡ 1,164,751㎡				
	そ の 他	1,760,279㎡ 1,806,418㎡	0㎡	㎡	1,760,279㎡ 1,806,418㎡				
	合 計	2,456,756㎡ 2,502,894㎡	468,275㎡	㎡	2,925,031㎡ 2,971,169㎡				
(2) 校 舎	専 用	344,014㎡ 324,012㎡ (343,031㎡ 332,640㎡)	76,974㎡ 95,308㎡ (95,308㎡)	1,900㎡ (1,900㎡)	422,888㎡ 421,220㎡ (440,239㎡ 429,848㎡)	近畿大学短期大学部・近畿 大学短期大学部通信教育部 （必要面積5,500㎡）と共用 新棟竣工による変更（4）			
	共 用								
(3) 教 室 等	講 義 室	334室 339室	演 習 室 270室 256室	実験実習室 643室 661室	情報処理学習施設 82室 79室 (補助職員 88人 103人)	語学学習施設 8室 (補助職員 2人 3人)	大学全体 改修工事による変更(4)		
	新設学部等の名称				室 数				
(4) 専任教員研究室		理工学部 エネルギー物質学科			15 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕		視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	学科単位での特定不能 なため、大学全体の 数。 図書館改修工事および 人事異動に伴い什器を 新規購入したため (4)	
		冊	種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕					
	理工学部 エネルギー物質学科	2,286,382 [847,248] 2,396,678 [872,059] (2,260,524 [846,234]) (2,339,329 [869,591])	117,477 [88,399] 21,713 [10,798] (114,305 [85,237]) (21,701 [10,798])	96,201 [77,604] 92,308 [75,444] (93,051 [74,445]) (92,308 [75,444])	47,327 49,573 (47,343) (48,492)	54,156 39,590 (54,770) (48,489)	584 513 (600) (580)		
	計	2,286,382 [847,248] 2,396,678 [872,059] (2,260,524 [846,234]) (2,339,329 [869,591])	117,477 [88,399] 21,713 [10,798] (114,305 [85,237]) (21,701 [10,798])	96,201 [77,604] 92,308 [75,444] (93,051 [74,445]) (92,308 [75,444])	47,327 49,573 (47,343) (48,492)	54,156 39,590 (54,770) (48,489)	584 513 (600) (580)		
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			図書館改修工事のため(4)	
	28,842㎡ 35,926㎡		5,406 5,362		2,373,946 2,556,680				
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要					大学全体	
	24,350㎡		屋内プール		野球場・武道場				
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維持 方法 の 概 要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	届出学部全体 図書購入費には電子 ジャーナル・データベー スの整備費（運用コスト 含む）を含む。
		教員1人当り研究費等	3,013千円	3,013千円	図書購入費	14,162千円	14,985千円	14,985千円	
	共同研究費等	1,368千円	1,368千円	設備購入費	52,023千円	40,100千円	40,100千円		
	学生1人当り 納付金	第1年次 1,712千円	第2年次 1,492千円	第3年次 1,522千円	第4年次 1,552千円	第5年次 — 千円	第6年次 — 千円	開設前年度において、学 部設置に伴う設備の充実 を図ったほか、開設年度 以降の経費については、情 報学部の今年度予算額を 基礎として、再算出した ため(4)	
	別途、学生健保共済会費、学部学生会会費、校友会終身会費が必要								
学生納付金以外の維持方法の概要			手数料、寄付金、補助金、資産運用事業収入等で維持する。						

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和4年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(4)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	近畿大学						学生募集停止学科数	1	平均入学定員超過率 1.3倍以上の学科等数	0	備考
	既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号					
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度		
法学部	4	500	-	2,000	-	1.01	1.11	-	-		大阪府東大阪市 新上小阪228番3 号
法律学科	4	500	-	2,000	学士 (法学)	1.01	1.11	-	昭和25		
経済学部	4	760	-	3,040	-	1.00	1.06	-	-		
経済学科	4	420	-	1,680	学士 (経済学)	1.02	1.07	-	平成15		同上
総合経済政策学科	4	170	-	680	学士 (経済政策学)	0.98	1.08	-	平成15		
国際経済学科	4	170	-	680	学士 (国際経済学)	0.98	1.02	-	平成18		
経営学部	4	1,340	-	5,360	-	1.04	1.15	-	-		
経営学科	4	585	-	2,340	-	1.04	1.14	-	-		
昼間主コース	4	425	-	1,700	学士 (経営学)	1.05	1.22	-	平成15		大阪府東大阪市 小若江3丁目4番 1号
夜間主コース	4	160	-	640	学士 (経営学)	1.02	0.95	-	平成15		
商学科	4	405	-	1,620	学士 (商学)	1.06	1.20	-	平成15		
会計学科	4	175	-	700	学士 (会計学)	1.02	1.11	-	平成18		
キャリア・マネジメント学科	4	175	-	700	学士 (キャリア・マネジ メント学)	1.02	1.12	-	平成19		
理工学部	4	1,040	-	3,860	-	1.04	1.11	-	-		
理学科	4	225	-	900	学士 (理学)	1.03	1.08	-	平成14		
生命科学科	4	95	-	380	学士 (理学)	1.05	1.22	-	平成14		
応用化学科	4	130	-	520	学士 (工学)	1.03	1.07	-	平成14		
機械工学科	4	200	-	800	学士 (工学)	1.03	1.13	-	平成14		同上
電気電子通信工学科	4	170	-	740	学士 (工学)	1.09	1.25	-	平成14		定員変更(△ 20)
社会環境工学科	4	100	-	400	学士 (工学)	1.04	1.06	-	平成14		
情報学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	平成14		令和4年度学生募 集停止
エネルギー物質学科	4	120	-	120	学士 (理工学)	0.94	0.94	令和4	令和4		
建築学部	4	280	-	1,120	-	1.05	1.10	-	-		同上
建築学科	4	280	-	1,120	学士 (建築学)	1.05	1.10	-	平成23		
薬学部	-	190	-	1,060	-	1.03	1.06	-	-		同上
医療薬学科	6	150	-	900	学士 (薬学)	1.03	1.05	-	平成18		
創薬科学科	4	40	-	160	学士 (薬科学)	1.07	1.12	-	平成18		
文芸学部	4	515	-	2,060	-	1.02	1.07	-	-		
文学科	4	180	-	720	-	1.02	1.05	-	-		
日本文学専攻	4	120	-	480	学士 (文学)	1.02	1.02	-	平成元		
英語英米文学専攻	4	60	-	240	学士 (文学)	1.03	1.11	-	平成元		大阪府東大阪市 新上小阪228番3 号
芸術学科	4	115	-	460	-	1.02	1.13	-	-		
舞台芸術専攻	4	50	-	200	学士 (文芸学)	1.00	1.04	-	平成元		
造形芸術専攻	4	65	-	260	学士 (文芸学)	1.03	1.21	-	平成元		
文化・歴史学科	4	140	-	560	学士 (文学)	1.01	1.03	-	平成元		
文化デザイン学科	4	80	-	320	学士 (文芸学)	1.04	1.11	-	平成28		
総合社会学部	4	510	-	2,040	-	0.98	1.02	-	-		同上
総合社会学科	4	510	-	2,040	学士 (総合社会学)	0.98	1.02	-	平成22		
国際学部	4	500	-	2,000	-	1.03	1.03	-	-		大阪府東大阪市 小若江3丁目4番 1号
国際学科	4	500	-	2,000	学士 (国際学)	1.03	1.03	-	平成28		

情報学部	4	330	-	330	-	1.09	1.09	-	-	大阪府東大阪市 新上小阪228番3号	
情報学科	4	330	-	330	学士 (工学)	1.09	1.09	令和4	令和4		
農学部	4	680	-	2,720	-	1.01	1.06	-	-		
農業生産科学科	4	120	-	480	学士 (農学)	0.98	1.00	-	平成17		
水産学科	4	120	-	480	学士 (農学)	1.07	1.30	-	昭和33		
応用生命化学科	4	120	-	480	学士 (農学)	1.00	0.95	-	平成17	奈良県奈良市中 町3327番204	
食品栄養学科	4	80	-	320	学士 (農学)	1.02	1.06	-	昭和42		
環境管理学科	4	120	-	480	学士 (農学)	1.06	1.07	-	平成17		
生物機能科学科	4	120	-	480	学士 (農学)	0.96	0.96	-	平成17		
医学部	6	112	-	676	-	0.99	1.00	-	-	大阪府大阪狭山 市大野東377番2	平成27～令和元年度のみの臨 時定員変更(20)
医学科	6	112	-	676	学士 (医学)	0.99	1.00	令和4	昭和49		令和2・3年度のみの臨時定員 変更(12)
生物理工学部	4	485	-	1,940	-	0.99	1.05	-	-		令和3年度のみの臨時定員変 更(5)
生物工学科	4	90	-	360	学士 (工学)	1.03	1.08	-	平成5		令和4年度のみの臨時定員変 更(17)
食品安全工学科	4	90	-	360	学士 (工学)	0.96	1.06	-	平成22		
遺伝子工学科	4	90	-	360	学士 (工学)	0.96	1.04	-	平成9	和歌山県紀の川 市西三谷930	
生命情報工学科	4	80	-	320	学士 (工学)	1.00	1.02	-	平成22		
人間環境デザイン工学科	4	80	-	320	学士 (工学)	1.00	1.11	-	平成22		
医用工学科	4	55	-	220	学士 (工学)	0.96	0.92	-	平成22		
工学部	4	545	-	2,180	-	0.99	1.01	-	-		
化学生命工学科	4	85	-	340	学士 (工学)	0.86	0.84	-	昭和34		
機械工学科	4	100	-	400	学士 (工学)	0.95	1.01	-	昭和34	広島県東広島市 高屋うめの辺1 番	
情報学科	4	90	-	360	学士 (工学)	1.09	1.03	-	昭和37		
建築学科	4	100	-	400	学士 (工学)	1.00	0.95	-	昭和40		
電子情報工学科	4	90	-	360	学士 (工学)	1.07	1.16	-	平成4		
ロボティクス学科	4	80	-	320	学士 (工学)	0.97	1.08	-	平成4		
産業理工学部	4	420	-	1,680	-	1.03	1.03	-	-		
生物環境化学科	4	75	-	300	学士 (工学)	0.96	1.01	-	平成16		
電気電子工学科	4	65	-	260	学士 (工学)	1.01	1.04	-	平成16	福岡県飯塚市柏 の森11番6	
建築・デザイン学科	4	90	-	360	学士 (工学)	1.02	1.04	-	平成16		
情報学科	4	70	-	280	学士 (工学)	1.17	1.28	-	平成16		
経営ビジネス学科	4	120	-	480	学士 (経営ビジネス学)	0.99	0.89	-	平成16		
通信教育法学部	4	2,000	-	8,000	-	0.07	0.09	-	-	大阪府東大阪市 小若江3丁目4番 1号	
法律学科	4	2,000	-	8,000	学士 (法学)	0.07	0.09	-	昭和35		
大学全体	-	10,207	-	40,066	-	-	-	-	-		

大学の名称	近畿大学大学院					学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率 1.3倍以上の学科等数	14	備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和4年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所在地
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度	
法学研究科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	大阪府東大阪市 新上小阪228番3 号
法律学専攻(博士前期課程)	2	10	-	20	修士 (法学)	0.80	0.90	-	昭和45	
法律学専攻(博士後期課程)	3	5	-	15	博士 (法学)	0.20	0.20	-	昭和47	
商学研究科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	大阪府東大阪市 小若江3丁目4番 1号
商学専攻(博士前期課程)	2	20	-	40	修士 (商学)	0.45	0.35	-	平成27	
商学専攻(博士後期課程)	3	5	-	15	博士 (商学)	0.13	0.20	-	昭和45	
経済学研究科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	大阪府東大阪市 新上小阪228番3 号
経済学専攻(博士前期課程)	2	20	-	40	修士 (経済学)	0.12	0.05	-	平成元	
経済学専攻(博士後期課程)	3	5	-	15	博士 (経済学)	0.00	0.00	-	平成3	
総合理工学研究科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	大阪府東大阪市 小若江3丁目4番 1号
理学専攻(博士前期課程)	2	30	-	60	修士 (理学)	1.64	1.86	-	平成11	
理学専攻(博士後期課程)	3	2	-	6	博士 (理学)	0.83	1.00	-	平成11	
物質系工学専攻(博士前期課程)	2	40	-	80	修士 (工学)	1.11	1.12	-	平成11	
物質系工学専攻(博士後期課程)	3	2	-	6	博士 (工学)	0.33	0.00	-	平成11	
メカニクス系工学専攻(博士前期課程)	2	25	-	50	修士 (工学)	2.10	1.76	-	平成11	
メカニクス系工学専攻(博士後期課程)	3	2	-	6	博士 (工学)	0.33	0.00	-	平成11	
エレクトロニクス系工学専攻(博士前期課程)	2	30	-	60	修士 (工学)	2.53	3.03	-	平成11	
エレクトロニクス系工学専攻(博士後期課程)	3	2	-	6	博士 (工学)	1.16	2.00	-	平成11	
環境系工学専攻(博士前期課程)	2	15	-	30	修士 (工学)	1.79	1.66	-	平成11	
環境系工学専攻(博士後期課程)	3	2	-	6	博士 (工学)	0.83	0.00	-	平成11	
建築デザイン専攻(修士課程)	2	10	-	20	修士 (建築学)	1.60	1.80	-	平成27	
東大阪モノづくり専攻(博士前期課程)	2	10	-	20	修士 (工学)	0.25	0.10	-	平成16	
東大阪モノづくり専攻(博士後期課程)	3	2	-	6	博士 (工学)	0.16	0.50	-	平成20	
薬学研究科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	大阪府東大阪市 小若江3丁目4番 1号
薬科学専攻(博士前期課程)	2	15	-	30	修士 (薬科学)	0.83	0.66	-	平成22	
薬科学専攻(博士後期課程)	3	2	-	6	博士 (薬科学)	1.50	1.50	-	平成24	
薬学専攻(博士課程)	4	3	-	12	博士 (薬学)	1.49	0.66	-	平成24	
総合文化研究科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	大阪府東大阪市 新上小阪228番3 号
日本文学専攻(修士課程)	2	4	-	8	修士 (文学)	0.37	0.00	-	平成26	
英語英米文学専攻(修士課程)	2	3	-	6	修士 (文学)	0.00	0.00	-	平成26	
文化・社会学専攻(修士課程)	2	8	-	16	修士 (文化学)(社会 学)	1.06	1.25	-	平成26	
心理学専攻(修士課程)	2	6	-	12	修士 (心理学)	1.00	1.00	-	平成26	

農学研究科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
農業生産科学専攻(博士前期課程)	2	10	-	20	修士 (農学)	2.05	1.80	-	平成17		
農業生産科学専攻(博士後期課程)	3	2	-	6	博士 (農学)	0.00	0.00	-	平成17		
水産学専攻(博士前期課程)	2	10	-	20	修士 (農学)	1.60	1.60	-	昭和61		
水産学専攻(博士後期課程)	3	4	-	12	博士 (農学)	0.08	0.25	-	平成元		
応用生命化学専攻(博士前期課程)	2	14	-	28	修士 (農学)	1.78	1.85	-	昭和60	奈良県奈良市中 町3327番204	
応用生命化学専攻(博士後期課程)	3	5	-	15	博士 (農学)	0.00	0.00	-	平成元		
環境管理学専攻(博士前期課程)	2	10	-	20	修士 (農学)	1.60	2.00	-	平成17		
環境管理学専攻(博士後期課程)	3	2	-	6	博士 (農学)	0.66	1.00	-	平成17		
バイオサイエンス専攻(博士前期課程)	2	12	-	24	修士 (農学)	1.62	1.50	-	平成17		
バイオサイエンス専攻(博士後期課程)	3	4	-	12	博士 (農学)	0.16	0.25	-	平成17		
生物理工学研究科	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
生物工学専攻(博士前期課程)	2	16	-	32	修士 (工学)	1.46	1.50	-	平成9		
生物工学専攻(博士後期課程)	3	3	-	9	博士 (工学)	0.77	0.66	-	平成11	和歌山県紀の川 市西三谷930	
生体システム工学専攻(博士前期課程)	2	18	-	36	修士 (工学)	1.19	1.11	-	平成26		
生体システム工学専攻(博士後期課程)	3	2	-	6	博士 (工学)	0.66	1.50	-	平成28		
システム工学研究科	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
システム工学専攻(博士前期課程)	2	45	-	90	修士 (工学)	1.38	1.31	-	平成25	広島県東広島市 高屋うめの辺1 番	
システム工学専攻(博士後期課程)	3	5	-	15	博士 (工学)	0.26	0.20	-	平成27		
産業理工学研究科	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
産業理工学専攻(博士前期課程)	2	30	-	60	修士 (工学)	0.61	0.66	-	平成25	福岡県飯塚市柏 の森11番6	
産業理工学専攻(博士後期課程)	3	3	-	9	博士 (工学)	0.66	0.33	-	平成27		
医学研究科	4	45	-	180	-	0.48	0.44	-	-		
医学系専攻(博士課程)	4	45	-	180	修士 (医学)	0.48	0.44	-	平成20	大阪府大阪狭山 市大野東377番2	
大学院全体	-	518	-	1,191	-	-	-	-	-		

大学の名称	近畿大学短期大学部						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率 1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和4年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍				
商経科 第2部	2	80	-	160	短期大学士 (経営学)	1.16	1.18	-	昭和25	大阪府東大阪市 小若江3丁目4番 1号	
通信教育部商経科	2	2,000	-	4,000	短期大学士 (経営学)	0.21	0.21	-	昭和32		
短期大学部全体	-	2,080	-	4,160	-	-	-	-	-		

大学の名称	近畿大学九州短期大学						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率 1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和4年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍				
生活福祉情報科	2	50	-	100	短期大学士 (生活科学)	0.78	0.88	-	昭和41	福岡県飯塚市菰 田東1丁目5番30 号	
保育科	2	70	-	140	短期大学士 (教育・保育学)	0.70	0.68	-	昭和41		
通信教育部 生活福祉情報科	2	300	-	600	短期大学士 (生活科学)	0.20	0.21	-	平成9		
通信教育部 保育科	2	600	-	1,200	短期大学士 (教育・保育学)	1.20	1.18	-	昭和53		
九州短期大学全体	-	1,020	-	2,040	-	-	-	-	-		

大学の名称	近畿大学工業高等専門学校						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率 1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和4年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍				
総合システム工学科	5	160	-	800	準学士 (工学)	1.05	1.00	-	平成17	三重県名張市春 日丘七番町1番 地	
工業高等専門学校全体	-	160	-	800	-	-	-	-	-		

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学、大学院、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<理工学部 エネルギー物質学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	渥美 寿雄 <令和4年4月> 工学博士
		基礎ゼミ1 エネルギー物質概論※ 基礎物理学実験 自校学習 基礎ゼミ2 エネルギー物質ゼミ1 資源とエネルギー エネルギー物質ゼミ3 原子エネルギー物理・工学※ エネルギー物質ゼミ4 水素エネルギー工学 卒業研究ゼミナール 卒業研究
専	教授	淵端 学 <令和4年4月> 博士(工学)
		基礎ゼミ1 エネルギー物質概論※ 基礎ゼミ2 エネルギー物質物理学概論※ エネルギー物質ゼミ1 ライフデバイスエネルギー物理学※ 基礎生体物理学※ エネルギー物質物理学実験2 計測物理学演習※ エネルギー物質ゼミ3 熱機関物理学 エネルギー物質ゼミ4 エネルギー変換工学 卒業研究ゼミナール 卒業研究
専	教授	野上 雅伸 <令和4年4月> 博士(工学)
		基礎ゼミ1 エネルギー物質概論※ 基礎化学実験 基礎ゼミ2 エネルギー物質化学実験 エネルギー物質化学1※ エネルギー物質化学2※ エネルギー物質ゼミ2 エネルギー物質ゼミ3 物質熱力学※ エネルギー物質ゼミ4 放射化学 卒業研究ゼミナール 卒業研究

【令和4年度】

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	渥美 寿雄 <令和4年4月> 工学博士
		基礎ゼミ1 エネルギー物質概論※ 基礎物理学実験 基礎ゼミ2 エネルギー物質ゼミ1 資源とエネルギー エネルギー物質ゼミ3 原子エネルギー物理・工学※ エネルギー物質ゼミ4 水素エネルギー工学 卒業研究ゼミナール 卒業研究
専	教授	淵端 学 <令和4年4月> 博士(工学)
		基礎ゼミ1 エネルギー物質概論※ 基礎ゼミ2 エネルギー物質物理学概論※ エネルギー物質ゼミ1 ライフデバイスエネルギー物理学※ 基礎生体物理学※ エネルギー物質物理学実験2 計測物理学演習※ エネルギー物質ゼミ3 熱機関物理学 エネルギー物質ゼミ4 エネルギー変換工学 卒業研究ゼミナール 卒業研究
専	教授	野上 雅伸 <令和4年4月> 博士(工学)
		基礎ゼミ1 エネルギー物質概論※ 基礎化学実験 基礎ゼミ2 エネルギー物質化学実験 エネルギー物質化学1※ エネルギー物質化学2※ エネルギー物質ゼミ2 エネルギー物質ゼミ3 物質熱力学※ エネルギー物質ゼミ4 放射化学 卒業研究ゼミナール 卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	須藤 篤 <令和4年4月> 博士(工学)
		基礎ゼミ1 エネルギー物質概論※ 基礎化学実験 基礎化学および演習 基礎ゼミ2 エネルギー物質化学概論※ 基礎化学情報処理※ エネルギー物質化学1※ エネルギー物質ゼミ1 エネルギー物質化学2※ エネルギー物質生物学実験 エネルギー物質ゼミ3 エネルギー物質ゼミ4 高分子材料工学 卒業研究ゼミナール インターンシップ 社会奉仕実習 卒業研究 エンジニアリングデザイン実習 理工学国際ゼミナール
専	教授	大久保 貴志 <令和4年4月> 博士(理学)
		基礎ゼミ1 エネルギー物質概論※ 基礎ゼミ2 化学 エネルギー物質化学概論※ エネルギー物質化学実験 基礎化学情報処理※ エネルギー物質化学1※ エネルギー物質化学2※ エネルギー物質ゼミ2 機器分析化学演習※ エネルギー物質ゼミ3 分子機能化学※ エネルギー物質ゼミ4 光電子機能化学 卒業研究ゼミナール 卒業研究 エンジニアリングデザイン実習 理工学国際ゼミナール
専	教授	有友 嘉浩 <令和4年4月> 博士(理学)
		基礎ゼミ1 物理学概論および演習I エネルギー物質概論※ 基礎物理学実験 基礎ゼミ2 物理数学演習※ エネルギー物質化学概論※ 数理解析演習※ エネルギー物質ゼミ1 基礎エネルギー物理学※ インフォマティクス実習※ エネルギー工学演習※ エネルギー物質ゼミ3 エネルギー物質ゼミ4 原子核物理学 卒業研究ゼミナール 卒業研究 エンジニアリングデザイン実習 理工学国際ゼミナール

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	須藤 篤 <令和4年4月> 博士(工学)
		基礎ゼミ1 エネルギー物質概論※ 基礎化学実験 基礎化学および演習 基礎ゼミ2 エネルギー物質化学概論※ 基礎化学情報処理※ エネルギー物質化学1※ エネルギー物質ゼミ1 エネルギー物質化学2※ エネルギー物質生物学実験 エネルギー物質ゼミ3 エネルギー物質ゼミ4 高分子材料工学 卒業研究ゼミナール インターンシップ 社会奉仕実習 卒業研究
専	教授	大久保 貴志 <令和4年4月> 博士(理学)
		基礎ゼミ1 エネルギー物質概論※ 基礎ゼミ2 自校学習 化学 エネルギー物質化学概論※ エネルギー物質化学実験 基礎化学情報処理※ エネルギー物質化学1※ エネルギー物質化学2※ エネルギー物質ゼミ2 機器分析化学演習※ エネルギー物質ゼミ3 分子機能化学※ エネルギー物質ゼミ4 光電子機能化学 卒業研究ゼミナール 卒業研究
専	教授	有友 嘉浩 <令和4年4月> 博士(理学)
		基礎ゼミ1 物理学概論および演習I エネルギー物質概論※ 基礎物理学実験 基礎ゼミ2 物理数学演習※ エネルギー物質化学概論※ 数理解析演習※ エネルギー物質ゼミ1 基礎エネルギー物理学※ インフォマティクス実習※ エネルギー工学演習※ エネルギー物質ゼミ3 エネルギー物質ゼミ4 原子核物理学 卒業研究ゼミナール 卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	武村 祐一朗 ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		基礎ゼミ1 エネルギー物質概論※ 基礎ゼミ2 次世代インフラエネルギー概論※ ライフデバイスエネルギー物理学※ エネルギー物質ゼミ1 基礎エネルギー物理学※ エネルギー物質物理学実験2 エネルギー物質ゼミ3 エネルギー発電・伝送工学 エネルギー物質ゼミ4 高電圧プラズマ物理・工学 卒業研究ゼミナール 卒業研究
専	准教授	中井 英隆 ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		基礎ゼミ1 エネルギー物質概論※ 基礎化学実験 基礎ゼミ2 エネルギー物質化学実験 エネルギー物質ゼミ2 科学技術英語1 機器分析化学演習※ エネルギー物質ゼミ3 機能材料化学※ 分子機能化学※ エネルギー物質ゼミ4 分子デバイス工学 卒業研究ゼミナール 卒業研究 エンジニアリングデザイン実習 理工学国際ゼミナール
専	准教授	大塚 哲平 ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		基礎ゼミ1 基礎物理学および演習 エネルギー物質概論※ 基礎ゼミ2 物理数学演習※ エネルギー物質物理学概論※ エネルギー物質物理学実験1 次世代インフラエネルギー概論※ 基礎エネルギー物理学※ エネルギー物質ゼミ2 エネルギー工学演習※ エネルギー物質ゼミ3 物質熱力学※ 原子エネルギー物理・工学※ 機能材料化学※ 科学技術英語2 エネルギー物質ゼミ4 インフラマテリアル工学 卒業研究ゼミナール 卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	武村 祐一朗 ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		基礎ゼミ1 エネルギー物質概論※ 基礎ゼミ2 次世代インフラエネルギー概論※ ライフデバイスエネルギー物理学※ エネルギー物質ゼミ1 基礎エネルギー物理学※ エネルギー物質物理学実験2 エネルギー物質ゼミ3 エネルギー発電・伝送工学 エネルギー物質ゼミ4 高電圧プラズマ物理・工学 卒業研究ゼミナール 卒業研究
専	准教授	中井 英隆 ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		基礎ゼミ1 エネルギー物質概論※ 基礎化学実験 基礎ゼミ2 エネルギー物質化学実験 エネルギー物質ゼミ2 科学技術英語1 機器分析化学演習※ エネルギー物質ゼミ3 機能材料化学※ 分子機能化学※ エネルギー物質ゼミ4 分子デバイス工学 卒業研究ゼミナール 卒業研究
専	教授	大塚 哲平 ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		基礎ゼミ1 基礎物理学および演習 エネルギー物質概論※ 基礎ゼミ2 物理数学演習※ エネルギー物質物理学概論※ エネルギー物質物理学実験1 次世代インフラエネルギー概論※ 基礎エネルギー物理学※ エネルギー物質ゼミ2 エネルギー工学演習※ エネルギー物質ゼミ3 物質熱力学※ 原子エネルギー物理・工学※ 機能材料化学※ 科学技術英語2 エネルギー物質ゼミ4 インフラマテリアル工学 卒業研究ゼミナール 卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	田中 仙君 <令和4年4月> 博士(理学)
		基礎ゼミ1 化学数学演習※ エネルギー物質概論※ 基礎ゼミ2 物理学概論および演習II 数理解析演習※ 次世代インフラエネルギー概論※ エネルギー物質物理学実験1 基礎電子デバイス物理学※ エネルギー物質ゼミ2 計測物理学演習※ エネルギー物質ゼミ3 電子デバイス物理学 エネルギー物質ゼミ4 光電変換デバイス工学 卒業研究ゼミナール 卒業研究
専	准教授	鬼頭 宏任 <令和4年4月> 博士(理学)
		基礎ゼミ1 エネルギー物質概論※ 基礎物理学実験 基礎ゼミ2 物理学および演習 エネルギー物質物理学実験1 数理情報処理※ エネルギー物質ゼミ2 インフォマティックス実習※ エネルギー物質ゼミ3 分子反応化学 エネルギー物質ゼミ4 量子分子工学 卒業研究ゼミナール 卒業研究
専	准教授	今野 大治郎 <令和4年4月> 博士(医学)
		基礎ゼミ1 エネルギー物質概論※ 基礎ゼミ2 生物学 基礎生体物理学※ エネルギー物質ゼミ2 エネルギー物質生物学実験 エネルギー物質ゼミ3 生体物質化学※ 生物センサ概論※ エネルギー物質ゼミ4 生物デバイス工学 卒業研究ゼミナール 卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	田中 仙君 <令和4年4月> 博士(理学)
		基礎ゼミ1 化学数学演習※ エネルギー物質概論※ 基礎ゼミ2 物理学概論および演習II 数理解析演習※ 次世代インフラエネルギー概論※ エネルギー物質物理学実験1 基礎電子デバイス物理学※ エネルギー物質ゼミ2 計測物理学演習※ エネルギー物質ゼミ3 電子デバイス物理学 エネルギー物質ゼミ4 光電変換デバイス工学 卒業研究ゼミナール 卒業研究
専	准教授	鬼頭 宏任 <令和4年4月> 博士(理学)
		基礎ゼミ1 エネルギー物質概論※ 基礎物理学実験 基礎ゼミ2 物理学および演習 エネルギー物質物理学実験1 数理情報処理※ エネルギー物質ゼミ2 インフォマティックス実習※ エネルギー物質ゼミ3 分子反応化学 エネルギー物質ゼミ4 量子分子工学 情報処理実習I 卒業研究ゼミナール 卒業研究
専	准教授	今野 大治郎 <令和4年4月> 博士(医学)
		基礎ゼミ1 エネルギー物質概論※ 基礎ゼミ2 生物学 基礎生体物理学※ エネルギー物質ゼミ2 エネルギー物質生物学実験 エネルギー物質ゼミ3 生体物質化学※ 生物センサ概論※ エネルギー物質ゼミ4 生物デバイス工学 卒業研究ゼミナール 卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	中澤 直高 ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		基礎ゼミ1 基礎生物学 エネルギー物質概論※ 基礎ゼミ2 エネルギー物質ゼミ1 基礎生体物理学※ エネルギー物質ゼミ3 生体物質化学※ 生物メカニクス概論 エネルギー物質生物学実験 エネルギー物質ゼミ4 生物メカニクス工学 卒業研究ゼミナール 卒業研究
専	講師	池田 篤俊 ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		基礎ゼミ1 化学数学演習※ エネルギー物質概論※ 基礎ゼミ2 エネルギー物質物理学概論※ 数理解析演習※ エネルギー物質ゼミ1 数理情報処理※ 基礎電子デバイス物理学※ エネルギー物質物理学実験2 インフォマティックス実習※ エネルギー物質ゼミ3 生物センサ概論※ エネルギー物質ゼミ4 生体情報工学 卒業研究ゼミナール 卒業研究
専	講師	川下 理日人 ＜令和4年4月＞ 博士(薬学)
		基礎ゼミ1 情報処理基礎 化学数学演習※ エネルギー物質概論※ 基礎ゼミ2 物理数学演習※ 基礎化学情報処理※ エネルギー物質ゼミ1 数理情報処理※ 量子化学 エネルギー物質生物学実験 エネルギー物質ゼミ3 エネルギー物質ゼミ4 計算生体物質化学 卒業研究ゼミナール 卒業研究 エンジニアリングデザイン実習 理工学国際ゼミナール

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	中澤 直高 ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		基礎ゼミ1 基礎生物学 エネルギー物質概論※ 基礎ゼミ2 エネルギー物質ゼミ1 基礎生体物理学※ エネルギー物質ゼミ3 生体物質化学※ 生物メカニクス概論 エネルギー物質生物学実験 エネルギー物質ゼミ4 生物メカニクス工学 卒業研究ゼミナール 卒業研究
専	講師	池田 篤俊 ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		基礎ゼミ1 化学数学演習※ エネルギー物質概論※ 基礎ゼミ2 エネルギー物質物理学概論※ 数理解析演習※ エネルギー物質ゼミ1 数理情報処理※ 基礎電子デバイス物理学※ エネルギー物質物理学実験2 インフォマティックス実習※ エネルギー物質ゼミ3 生物センサ概論※ エネルギー物質ゼミ4 生体情報工学 卒業研究ゼミナール 卒業研究
専	准教授	川下 理日人 ＜令和4年4月＞ 博士(薬学)
		基礎ゼミ1 情報処理基礎 化学数学演習※ エネルギー物質概論※ 基礎ゼミ2 物理数学演習※ 基礎化学情報処理※ エネルギー物質ゼミ1 数理情報処理※ 量子化学 エネルギー物質生物学実験 エネルギー物質ゼミ3 エネルギー物質ゼミ4 計算生体物質化学 卒業研究ゼミナール 卒業研究

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	井口 信和 ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		情報システム基礎 情報システム応用
兼担	教授	神田 宏 ＜令和4年4月＞ 法学修士
		教養特殊講義C 教養特殊講義A※
兼担	教授	森本 健志 ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		エンジニアリングデザイン実習 理工学国際ゼミナール 国際プロジェクトマネジメント実習
兼担	教授	麓 隆行 ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		エンジニアリングデザイン実習 理工学国際ゼミナール
兼担	教授	松井 一彰 ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		エンジニアリングデザイン実習 理工学国際ゼミナール
兼担	教授	西藪 和明 ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		エンジニアリングデザイン実習 理工学国際ゼミナール
兼担	教授	半田 久志 ＜令和4年4月＞ 博士(情報学)
		エンジニアリングデザイン実習 理工学国際ゼミナール
兼担	教授	河井 克之 ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		エンジニアリングデザイン実習 理工学国際ゼミナール
兼担	教授	松谷 貴臣 ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		教養特殊講義C

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	井口 信和 ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		情報システム基礎 情報システム応用
兼担	准教授	萬谷 和歌子 ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		教養特殊講義A※
兼担	教授	森本 健志 ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		エンジニアリングデザイン実習 理工学国際ゼミナール 国際プロジェクトマネジメント実習 情報処理実習II
兼担	教授	松谷 貴臣 ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		教養特殊講義C

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	山西 弘城 ＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		基礎環境エネルギー科学※
兼担	教授	若林 源一郎 ＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		基礎環境エネルギー科学※ 量子線物理・工学※
兼担	教授	井田 民男 ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		バイオエネルギー工学
兼担	教授	武富 利亜 ＜令和4年4月＞ 博士(薬学)
		教養特殊講義A※
兼担	教授	熊本 理抄 ＜令和4年4月＞ 博士(人間科学)
		人権と社会1
兼担	教授	小橋 馨 ＜令和6年4月＞ 法学修士
		企業倫理と知的財産
兼担	教授	平井 大輔 ＜令和4年4月＞ 博士(英語学)
		教養特殊講義B
兼担	教授	田中 ひかる ＜令和4年4月＞ 修士(体育学)
		生涯スポーツ1 生涯スポーツ2
兼担	教授	田邊 智 ＜令和4年4月＞ 博士(スポーツ科学)
		生涯スポーツ1 生涯スポーツ2
兼担	教授	三原 京 ＜令和4年4月＞ 修士(文学)
		英語演習1 英語演習2 アカデミックリーディング1 アカデミックリーディング2

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	山西 弘城 ＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		基礎環境エネルギー科学※
兼担	教授	若林 源一郎 ＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		基礎環境エネルギー科学※ 量子線物理・工学※
兼担	教授	井田 民男 ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		バイオエネルギー工学 環境と社会
兼担	教授	熊本 理抄 ＜令和4年4月＞ 博士(人間科学)
		人権と社会1
兼担	教授	小橋 馨 ＜令和6年4月＞ 法学修士
		企業倫理と知的財産
兼担	教授	平井 大輔 ＜令和4年4月＞ 博士(英語学)
		教養特殊講義B
兼担	教授	田中 ひかる ＜令和4年4月＞ 修士(体育学)
		生涯スポーツ1 生涯スポーツ2
兼担	教授	田邊 智 ＜令和4年4月＞ 博士(スポーツ科学)
		生涯スポーツ1 生涯スポーツ2
兼担	教授	三原 京 ＜令和4年4月＞ 修士(文学)
		アカデミックリーディング1 アカデミックリーディング2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	大星 直樹 ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		微分積分学Ⅰ
兼任	教授	睦 宗均 ＜令和4年4月＞ 博士(言語文化学)
		海外語学研修(韓国語)
兼任	教授	東崎 康嘉 ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		技術と倫理
兼任	准教授	多田 昌裕 ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		線形代数学Ⅰ
兼任	准教授	波部 斉 ＜令和4年4月＞ 博士(情報学)
		微分積分学Ⅱ
兼任	准教授	白浜 公章 ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		情報処理実習Ⅰ 情報処理実習Ⅱ エンジニアリングデザイン実習 理工学国際ゼミナール
兼任	准教授	船上 仁範 ＜令和4年4月＞ 博士(薬学)
		教養特殊講義A※
兼任	准教授	段下 一平 ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		エンジニアリングデザイン実習 理工学国際ゼミナール
兼任	准教授	照井 雅子 ＜令和4年4月＞ 修士(言語・文化学)
		エンジニアリングデザイン実習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	酒井 拓史 ＜令和4年4月＞ 博士(学術)
		微分積分学Ⅰ
兼任	講師	吉田 諭史 ＜令和4年4月＞ 博士(教育学)
		海外語学研修(英語) 海外語学研修(中国語) 海外語学研修(韓国語) 英語演習1 英語演習2
兼任	教授	東崎 康嘉 ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		技術と倫理
兼任	講師	源嶋 孝太 ＜令和4年4月＞ 博士(理学)
		線形代数学Ⅰ
兼任	講師	橋新 裕一 ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		微分積分学Ⅱ
兼任	教授	石井 隆之 ＜令和4年4月＞ 修士(教育学)
		教養特殊講義A※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教授	山田 崇裕 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		量子線物理・工学※
兼担	准教授	佐野 忠史 ＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		原子エネルギー物理・工学※
兼担	准教授	辺 成祐 ＜令和4年4月＞ 修士(経済学)
		国際経済と企業の国際化
兼担	准教授	河野 英二 ＜令和4年4月＞ 博士(文学)
		国際化と異文化理解 ドイツ語総合1 ドイツ語総合2
兼担	准教授	森山 真光 ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		ビジネスモデルとマネジメント
兼担	准教授	芳原 新也 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		科学的問題解決法
兼担	准教授	橋本 剛幸 ＜令和4年4月＞ 修士(教育学)
		生涯スポーツ1 生涯スポーツ2
兼担	准教授	菟原 美和 ＜令和4年4月＞ 博士(文学)
		英語演習1 英語演習2 TOEIC1 TOEIC2
兼担	准教授	Rudolph Nathanael John ＜令和4年4月＞ 博士(言語文化教育)
		オーラルイングリッシュ1 オーラルイングリッシュ2

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教授	山田 崇裕 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		量子線物理・工学※
兼担	准教授	佐野 忠史 ＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		原子エネルギー物理・工学※
兼担	講師	榊原 可人 ＜令和4年4月＞ 学士(教養)
		国際経済と企業の国際化
兼担	准教授	河野 英二 ＜令和4年4月＞ 博士(文学)
		国際化と異文化理解
兼任	講師	富田 佳宏 ＜令和4年4月＞ 修士(理学)
		ビジネスモデルとマネジメント
兼担	准教授	芳原 新也 ＜令和6年4月＞ 博士(工学)
		科学的問題解決法
兼担	准教授	橋本 剛幸 ＜令和4年4月＞ 修士(教育学)
		生涯スポーツ1 生涯スポーツ2
兼担	准教授	菟原 美和 ＜令和4年4月＞ 博士(文学)
		TOEIC1 TOEIC2
兼担	准教授	Rudolph Nathanael John ＜令和4年4月＞ 博士(言語文化教育)
		オーラルイングリッシュ3 オーラルイングリッシュ4

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教授	澤 泰人 <令和4年4月> 修士(文学)
		海外語学研修(英語)
兼担	准教授	幸福 香織 (59) <令和4年4月> 文学修士
		海外語学研修(中国語)
兼担	講師	濱砂 幸裕 (38) <令和4年4月> 博士(工学)
		線形代数学Ⅱ
兼担	講師	水野 諭 (44) <令和4年4月> 博士(工学)
		環境と社会
兼担	講師	熊本 和正 (60) <令和4年4月> 博士(医学)
		生涯スポーツ1
兼担	講師	松下 聖 (32) <令和4年4月> 修士(国際学)
		国際社会と日本
		ロシア語1
		ロシア語2
		海外語学研修(ロシア)
兼担	講師	三木 浩平 (36) <令和5年4月> 博士(言語コミュニケーション文化)
		アカデミックリーディング1
		アカデミックリーディング2
兼担	講師	大谷 雅之 (37) <令和4年4月> 博士(工学)
		情報処理実習Ⅰ 情報処理実習Ⅱ
兼任	講師	棚田 洋平 (39) <令和4年4月> 修士(人間科学)
		人権と社会1 人権と社会2

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教授	鈴木 貴雄 (48) <令和4年4月> 博士(理学)
		線形代数学Ⅱ
兼担	講師	熊本 和正 (61) <令和4年4月> 博士(医学)
		生涯スポーツ1
兼担	講師	松下 聖 (33) <令和4年4月> 修士(国際学)
		国際社会と日本
		ロシア語1
		ロシア語2
		海外語学研修(ロシア)
兼担	講師	三木 浩平 (37) <令和5年4月> 博士(言語コミュニケーション文化)
		アカデミックリーディング1
		アカデミックリーディング2
兼任	講師	棚田 洋平 (40) <令和4年4月> 修士(人間科学)
		人権と社会1 人権と社会2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	広瀬 美千代 (61) ＜令和4年4月＞ 博士(学術)
		住みよい社会と福祉
兼任	講師	安田 善紀 (43) ＜令和5年4月＞ 法務博士
		現代社会と法
兼任	講師	毛利 在宏 (50) ＜令和5年4月＞ 法務博士
		暮らしのなかの憲法 プレゼンテーション技術
兼任	講師	西口 善則 (58) ＜令和6年4月＞ 法学士
		メディアの読み方
兼任	講師	都築 由美 (61) ＜令和4年4月＞ 学士(文学)
		日本語の技法
兼任	講師	足塚 智志 (65) ＜令和6年4月＞ 修士(学術)
		キャリアデザイン
兼任	講師	楠本 秀忠 (64) ＜令和4年4月＞ 博士(学術)
		生涯スポーツ1 生涯スポーツ2
兼任	講師	村上 雅俊 (43) ＜令和4年4月＞ 修士(スポーツ科学)
		生涯スポーツ1 生涯スポーツ2
兼任	講師	橘田 恵 (38) ＜令和4年4月＞ 修士(体育学)
		生涯スポーツ1 生涯スポーツ2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	広瀬 美千代 (61) ＜令和4年4月＞ 博士(学術)
		住みよい社会と福祉
兼任	講師	西塚 直之 (43) ＜令和5年4月＞ 博士(法務)
		現代社会と法
兼任	講師	毛利 在宏 (51) ＜令和5年4月＞ 法務博士
		暮らしのなかの憲法 プレゼンテーション技術
兼任	講師	西口 善則 (58) ＜令和6年4月＞ 法学士
		メディアの読み方
兼任	講師	田中 教子 (55) ＜令和4年4月＞ 博士(日本語日本文化)
		日本語の技法
兼任	講師	足塚 智志 (66) ＜令和6年4月＞ 修士(学術)
		キャリアデザイン
兼任	講師	寺田 進志 (36) ＜令和4年4月＞ 博士(コーチング学)
		生涯スポーツ1 生涯スポーツ2
兼任	講師	村上 雅俊 (44) ＜令和4年4月＞ 修士(スポーツ科学)
		生涯スポーツ1 生涯スポーツ2
兼任	講師	橘田 恵 (39) ＜令和4年4月＞ 修士(体育学)
		生涯スポーツ1 生涯スポーツ2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	山内 章裕 (52) ＜令和4年4月＞ 修士(経営学)
		生涯スポーツ1 生涯スポーツ2
兼任	講師	山内 愛 (39) ＜令和4年4月＞ 修士(スポーツ学)
		生涯スポーツ1
兼任	講師	三村 覚 (47) ＜令和4年4月＞ 博士(心理学)
		生涯スポーツ2
兼任	講師	秋山 香代 (60) ＜令和4年4月＞ 家政学修士
		食生活と健康
兼任	講師	栗山 晶代 (50) ＜令和4年4月＞ 修士(教育学)
		健康とスポーツの科学
兼任	講師	里井 真理子 (46) ＜令和4年4月＞ 修士(コミュニケーション学)
		英語演習1
		英語演習2
		TOEIC1 TOEIC2
兼任	講師	魚野 昌子 (61) ＜令和4年4月＞ 修士(英文学)
		英語演習1 英語演習2
兼任	講師	橋尾 晋平 (30) ＜令和4年4月＞ 博士(文化情報学)
		英語演習1 英語演習2
兼任	講師	真田 里恵 (53) ＜令和4年4月＞ 修士(語学)
		英語演習1 英語演習2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	山内 章裕 (53) ＜令和4年4月＞ 修士(経営学)
		生涯スポーツ1 生涯スポーツ2
兼任	講師	加藤 大門 (41) ＜令和4年4月＞ 修士(体育学)
		生涯スポーツ1
兼任	講師	三村 覚 (48) ＜令和4年4月＞ 博士(心理学)
		生涯スポーツ2
兼任	講師	秋山 香代 (61) ＜令和4年4月＞ 家政学修士
		食生活と健康
兼任	講師	栗山 晶代 (51) ＜令和4年4月＞ 修士(教育学)
		健康とスポーツの科学
兼任	講師	里井 真理子 (47) ＜令和4年4月＞ 修士(コミュニケーション学)
		TOEIC1
		TOEIC2
兼任	講師	魚野 昌子 (62) ＜令和4年4月＞ 修士(英文学)
		英語演習1 英語演習2
兼任	講師	真田 里恵 (54) ＜令和4年4月＞ 修士(語学)
		英語演習1 英語演習2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	日高 文代 (61) ＜令和4年4月＞ 修士(文学)
		英語演習1 英語演習2
兼任	講師	野原 万里 (53) ＜令和4年4月＞ 修士(言語教育学)
		英語演習1 英語演習2
兼任	講師	柳本 麻美 (60) ＜令和5年4月＞ 修士(文学)
		アカデミックリーディング1 アカデミックリーディング2
兼任	講師	高橋 一馬 (26) ＜令和5年4月＞ 修士(人間・環境学)
		アカデミックリーディング1 アカデミックリーディング2
兼任	講師	安田 幸子 (64) ＜令和5年4月＞ 修士(英文学)
		アカデミックリーディング1 アカデミックリーディング2
兼任	講師	河本 知子 (63) ＜令和5年4月＞ 修士(文学)
		ライティング1 ライティング2 アカデミックリーディング1 アカデミックリーディング2
		津田 香織 (56) ＜令和6年4月＞ 博士(英文学)
		ライティング1 ライティング2
兼任	講師	藪井 恵美子 (61) ＜令和6年4月＞ 修士(学術)
		ライティング1 ライティング2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	日高 文代 (62) ＜令和4年4月＞ 修士(文学)
		英語演習1 英語演習2
兼任	講師	野原 万里 (54) ＜令和4年4月＞ 修士(言語教育学)
		英語演習1 英語演習2
兼任	講師	柳本 麻美 (61) ＜令和5年4月＞ 修士(文学)
		アカデミックリーディング1 アカデミックリーディング2
兼任	講師	高橋 一馬 (27) ＜令和5年4月＞ 修士(人間・環境学)
		アカデミックリーディング1 アカデミックリーディング2
兼任	講師	安田 幸子 (65) ＜令和5年4月＞ 修士(英文学)
		アカデミックリーディング1 アカデミックリーディング2
兼任	講師	河本 知子 (64) ＜令和5年4月＞ 修士(文学)
		ライティング1 ライティング2 アカデミックリーディング1 アカデミックリーディング2
		津田 香織 (57) ＜令和6年4月＞ 博士(英文学)
		ライティング1 ライティング2
兼任	講師	藪井 恵美子 (62) ＜令和6年4月＞ 修士(学術)
		ライティング1 ライティング2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	Blocksom alexander sho (35) <令和5年4月> 修士(教育学英語教授法)
		TOEIC1 TOEIC2
兼任	講師	井上 拓也 (32) <令和5年4月> 修士(人間・環境学)
		TOEIC1 TOEIC2
兼任	講師	時里 祐子 (44) <令和5年4月> 修士(英文学)
		TOEIC1 TOEIC2
兼任	講師	藤井 蓉子 (30) <令和5年4月> 修士(言語・文化学)
		TOEIC1 TOEIC2
兼任	講師	Scott Riley (46) <令和4年4月> B. A. Commerce Canada
		オーラルイングリッシュ1
		オーラルイングリッシュ2
		オーラルイングリッシュ3
		オーラルイングリッシュ4
兼任	講師	Patrick Judge (52) <令和4年4月> B. A. Asian History USA
		オーラルイングリッシュ1
		オーラルイングリッシュ2
		オーラルイングリッシュ3
		オーラルイングリッシュ4
兼任	講師	Erkki Hietalahti (61) <令和4年4月> B. Soc. Sc Public Administration South Africa
		オーラルイングリッシュ1
		オーラルイングリッシュ2
		オーラルイングリッシュ3
		オーラルイングリッシュ4

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	Blocksom alexander sho (35) <令和5年4月> 修士(教育学英語教授法)
		TOEIC1 TOEIC2
兼任	講師	井上 拓也 (32) <令和5年4月> 修士(人間・環境学)
		TOEIC1 TOEIC2
兼任	講師	時里 祐子 (45) <令和5年4月> 修士(英文学)
		TOEIC1 TOEIC2
兼任	講師	藤井 蓉子 (31) <令和5年4月> 修士(言語・文化学)
		TOEIC1 TOEIC2
兼任	講師	Scott Riley (47) <令和4年4月> B. A. Commerce Canada
		オーラルイングリッシュ1
		オーラルイングリッシュ2
		オーラルイングリッシュ3
		オーラルイングリッシュ4
兼任	講師	Patrick Judge (53) <令和4年4月> B. A. Asian History USA
		オーラルイングリッシュ1
		オーラルイングリッシュ2
		オーラルイングリッシュ3
		オーラルイングリッシュ4
兼任	講師	Erkki Hietalahti (62) <令和4年4月> B. Soc. Sc Public Administration South Africa
		オーラルイングリッシュ1
		オーラルイングリッシュ2
		オーラルイングリッシュ3
		オーラルイングリッシュ4

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	William White (56) <令和4年4月> B. A. UMASS Amherst USA
		オーラルイングリッシュ1
		オーラルイングリッシュ2
		オーラルイングリッシュ3
兼任	講師	Shawn White (57) <令和4年4月> Bcom Commerce and Marketing Canada
		オーラルイングリッシュ1
		オーラルイングリッシュ2
		オーラルイングリッシュ3
兼任	講師	Jennifer Ito (52) <令和4年4月> B. S Psychology USA
		オーラルイングリッシュ1
		オーラルイングリッシュ2
		オーラルイングリッシュ3
兼任	講師	Shane Walsh (43) <令和4年4月> B. A. Sports Administration Australia
		オーラルイングリッシュ1
		オーラルイングリッシュ2
		オーラルイングリッシュ3
兼任	講師	Theodore ostis (64) <令和5年4月> B English as Second Language, USA
		オーラルイングリッシュ3
		オーラルイングリッシュ4
		オーラルイングリッシュ1
兼任	講師	須摩 肇 (55) <令和4年4月> 修士(文学)
		ドイツ語総合1
		ドイツ語総合2
兼任	講師	宮本 晴美 (59) <令和5年4月> 修士(文学)
		ドイツ語総合3
		ドイツ語総合4

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	William White (57) <令和4年4月> B. A. UMASS Amherst USA
		オーラルイングリッシュ1
		オーラルイングリッシュ2
		オーラルイングリッシュ3
兼任	講師	Shawn White (58) <令和4年4月> Bcom Commerce and Marketing Canada
		オーラルイングリッシュ3
		オーラルイングリッシュ4
		オーラルイングリッシュ1
兼任	講師	Jennifer Ito (53) <令和4年4月> B. S Psychology USA
		オーラルイングリッシュ1
		オーラルイングリッシュ2
		オーラルイングリッシュ3
兼任	講師	Shane Walsh (44) <令和4年4月> B. A. Sports Administration Australia
		オーラルイングリッシュ1
		オーラルイングリッシュ2
		オーラルイングリッシュ3
兼任	講師	Theodore ostis (63) <令和5年4月> B English as Second Language, USA
		オーラルイングリッシュ3
		オーラルイングリッシュ4
		オーラルイングリッシュ1
兼任	講師	南谷 真紀 (47) <令和4年4月> 修士(国際学)
		ドイツ語総合1
		ドイツ語総合2
兼任	講師	宮本 晴美 (60) <令和5年4月> 修士(文学)
		ドイツ語総合3
		ドイツ語総合4

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	久後 貴行 (55) ＜令和4年4月＞ 修士(文学)
		フランス語総合1 フランス語総合2
兼任	講師	秋吉 孝浩 (57) ＜令和5年4月＞ 修士(文学)
		フランス語総合3 フランス語総合4
兼任	講師	山本 浩史 (37) ＜令和4年4月＞ 修士(文学)
		中国語総合1 中国語総合2
兼任	講師	岡原 嗣春 (45) ＜令和4年4月＞ 博士(文学)
		中国語総合1 中国語総合2
兼任	講師	田中 弥生 (44) ＜令和4年4月＞ 修士(文学)
		中国語総合1 中国語総合2
兼任	講師	野島 本泰 (44) ＜令和4年4月＞ 修士(文学)
		中国語総合1 中国語総合2
兼任	講師	二ノ宮 聡 (44) ＜令和5年4月＞ 修士(文学)
		中国語総合3
兼任	講師	中屋 昌子 (47) ＜令和5年4月＞ 修士(グローバル社会研究)
		中国語総合4
兼任	講師	平井 清実 (61) ＜令和4年4月＞ 修士(文学)
		韓国語総合1 韓国語総合2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	北野 文英 (57) ＜令和4年4月＞ 修士(文学)
		フランス語総合1 フランス語総合2
兼任	講師	秋吉 孝浩 (58) ＜令和5年4月＞ 修士(文学)
		フランス語総合3 フランス語総合4
兼任	講師	井上 薫 (49) ＜令和4年4月＞ 修士(言語・文化学)
		中国語総合1 中国語総合2
兼任	講師	小出 敦 (52) ＜令和4年4月＞ 修士(文学)
		中国語総合1 中国語総合2
兼任	講師	二ノ宮 聡 (45) ＜令和5年4月＞ 修士(文学)
		中国語総合3
兼任	講師	中屋 昌子 (48) ＜令和5年4月＞ 修士(グローバル社会研究)
		中国語総合4
兼任	講師	河 昇彬 (52) ＜令和4年4月＞ 博士(政治学)
		韓国語総合1 韓国語総合2

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	斐 貞銀 (39) <令和4年4月> 言語文化学 修士
		韓国語総合3 韓国語総合4
兼任	講師	水本 旭洋 (34) <令和5年4月> 博士(工学)
		情報処理演習

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	斐 貞銀 (40) <令和4年4月> 言語文化学 修士
		韓国語総合3 韓国語総合4
兼任	講師	水本 旭洋 (34) <令和5年4月> 博士(工学)
		情報処理演習
兼任	講師	吉川 武憲 (58) <令和5年4月> 博士(学校教育学)
		地学概論Ⅰ 地学概論Ⅱ 地学実験

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

【令和4年度】

・令和4年4月大塚哲平准教授が教授に、川下理日人講師が准教授に昇任。
・教育内容充実および授業運営上の理由により、科目担当者を変更。
「自校学習」を瀧美寿雄教授から大久保貴志教授に変更。
「情報処理実習Ⅰ」を白浜公章准教授、大谷雅之講師から鬼頭宏任准教授に変更。
「情報処理実習Ⅱ」を白浜公章准教授、大谷雅之講師から森本健志教授に変更。
「教養特殊講義A」を神田宏教授、武富利亞教授、船上仁範准教授から石井隆之教授、萬谷和歌子准教授に変更。
「環境と社会」に水野諭講師から井田民男教授に変更。
「英語演習1」「英語演習2」を三原京教授、菟原美和准教授、里井真理子講師、魚野昌子講師、橋尾晋平講師、真田里恵講師、日高文代講師、野原万里講師から吉田諭史講師、魚野昌子講師、真田里恵講師、日高文代講師、野原万里講師に変更。
「微積分学Ⅰ」を大星直樹教授から酒井拓史講師に変更。
「海外語学研修(韓国語)」を睦宗均教授から吉田諭史講師に変更。
「海外語学研修(英語)」を澤泰人准教授から吉田諭史講師に変更。
「海外語学研修(中国語)」を幸福香織准教授から、吉田諭史講師に変更。
「線形代数学Ⅰ」を多田昌裕准教授から源嶋孝太講師に変更。
「微積分学Ⅱ」を波部斉准教授から橋新裕一講師に変更。
「線形代数学Ⅱ」を濃砂幸裕講師から鈴木貴雄准教授に変更。
「国際経済と企業の国際化」を辺成祐准教授から榊原可人講師に変更。
「ビジネスモデルとマネジメント」を森山真光准教授から富田佳宏講師に変更。
「ドイツ語総合1」「ドイツ語総合2」をクラス数変更のため、河野英二准教授、須摩肇講師から南谷真紀講師に変更。
「フランス語総合1」「フランス語総合2」を久後貴行講師から北野文英講師に変更。
「韓国語総合1」「韓国語総合2」を平井清実講師から河昇彬講師に変更。
「オーラルイングリッシュ3」「オーラルイングリッシュ4」にRudolph Nathanael John講師を追加。
「オーラルイングリッシュ1」「オーラルイングリッシュ2」をクラス数変更のため、Rudolph Nathanael John講師、Erkki Hietalahti講師、Shawn White講師を削除。
「現代社会と法」を安田善紀講師から西塚直之講師に変更。
「日本語の技法」を都築由美講師から田中教子講師に変更。
「生涯スポーツ1」「生涯スポーツ2」について楠本秀忠講師から寺田進志講師、山内愛講師から加藤大門講師に変更。
「中国語総合1」「中国語総合2」を山本浩史講師から井上薫講師、岡原嗣春講師から小出敦講師に変更。クラス数変更のため、田中弥生講師、野島本泰講師を削除。
「エンジニアリングデザイン実習」を須藤篤教授、大久保貴志教授、有友嘉浩教授、中井英隆准教授、川下理日人講師、龍隆行教授、松井一彰教授、西藪和明教授、半田久志教授、河井克之教授、白浜公章准教授、照井雅子准教授、段下一平准教授、森本健志教授の共担から森本健志教授に変更。
「理工学国際ゼミナール」を須藤篤教授、大久保貴志教授、有友嘉浩教授、中井英隆准教授、川下理日人講師、龍隆行教授、松井一彰教授、西藪和明教授、半田久志教授、河井克之教授、白浜公章准教授、段下一平准教授、森本健志教授の共担から森本健志教授に変更。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(A/C教員審査)を受けてください。**A/C教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(A/C)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は削除せず、斜線を入れてください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
10 名	5 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	助手 (A')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	助手 (B')
6	6	3	0	15	0	7	6	2	0	15	0
(7)	(6)	(2)	(0)	(15)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	助手 (C')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)	助手 (D')
7	6	2	0	15	0	7	6	2	0	15	0
[1]	[0]	[Δ1]	[0]	[0]	[0]	[1]	[0]	[Δ1]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
66 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段階まで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{15}{15} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{15} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
							該当なし
合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)			
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）」の理由に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
							該当なし
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)			
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D)+(F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{15} = 0 \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和3年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0 人

(注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) -⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
						該当なし				
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
認 可 時 (令和〇〇年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和〇〇年)			
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和△△年)			
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和□□年)			
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和□□年)			
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和□□年)			

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<理工学部 エネルギー物質学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
特記事項なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>◇教育改革推進センター運営委員会を設置</p> <p>委員会構成：センター長、副センター長、IRセンター長、副学長、全学共通教育機構長、21世紀教育改革検討委員会委員長及び各検討委員会委員長、各学部長補佐および事務(部)長等</p> <p>※FD活動に関しては、各学部においてもFD委員会等を設置して教育力の向上に取り組んでいる。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>◇運営委員会：2回</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>(1) 21世紀教育改革委員会が策定した具体的施策の実施に関する事項</p> <p>(2) 教育の質改善と学生の能力向上に関する事項</p> <p>(3) 学生の学修支援に関する事項</p> <p>(4) 大学院教育の改善に関する事項</p> <p>(5) ICT・AI教育の推進に関する事項</p> <p>(6) 教育における調査・分析・改善に関する事項</p> <p>(7) その他教育改革の推進に関する事項</p> <p>(※) 21世紀教育改革委員会は本学の建学の精神と教育の目的に基づく教育改革を推進し、授業及び学修活動の質を向上させることを目的として「学士力強化」「学生生活支援」「大学院改革」「ICT教育」の4委員会を設置し、教育改革を進めている。</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>1. 新任教員研修会の開催</p> <p>2. 全学FD・SD研究集会の開催</p> <p>3. アンケート実施、公表の推進</p> <p>4. シラバス記載内容の改善とガイドラインの作成</p>
--

b 実施方法

1. 新任教員研修会の開催
大学の概要に関する講義、教育改革の取り組みに関する講義、
教育の質の向上に資するワークショップ
2. 全学FD・SD研究会の開催
外部講師による教育改革の事例紹介や、学修成果の可視化に関する講演
3. アンケート実施、公表の推進
アンケートの集計、結果の公表、フィードバック
(授業評価アンケート) リフレクションペーパーの作成
4. シラバス記載内容の改善とガイドラインの作成
記載上の留意事項の作成・配布、点検・監査報告の義務化

c 開催状況（教員の参加状況含む）

1. 新任教員研修会の開催（年2回）
◇4月
本学の概要や取組を中心に入試制度から就職状況、教育方針等の研修を実施した。
◇11月
「第3期大学認証評価と大学における内部質保証」と題し、本学自己点検・評価委員長が講演会を行い、その後、主体的な学習を実現するための方略等を学ぶためワークショップ形式で実施した。
2. 全学FD研究会の開催（年2回）
◇9月（録画視聴）
テーマ①「ここまでOK！ここからNG！大学教育と著作権の必須知識」
テーマ②「卒業生・企業アンケート結果報告」
◇3月（ウェビナー及び録画配信）
テーマ「GPS-Academic/卒業生・企業アンケート結果報告」
3. アンケート実施、分析、公表の推進
◇授業評価アンケート（年2回）および卒業アンケート（卒業式当日）
◇教育活動の成果と改善のため、原則全学部・全科目を対象に実施。結果を学内にフィードバックし、
学外にも公表
※授業評価アンケートについては教員ヘリフレクションペーパーの作成を依頼し、次年度の授業改善を
意識づける取り組みを行っている。
4. シラバス記載内容の改善とガイドラインの作成
記載内容の充実と質保証を目的とし、作成上の留意事項を詳細に記載した資料を作成し、全教員に
配布している。
またその内容に即したシラバスであることを確認するため、各学部・研究科にて点検・監査を実施し、
次年度開始前を期限として学部長・研究科長等より監査報告書の提出を義務付けている。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

いずれの取り組みも大学の授業改善サイクルの一環として位置づけ、特に教育成果を把握するための「アンケート結果」と、学修内容の明確化と質の維持向上を目的とした「シラバス作成と点検監査」を組織的に取り組むことにより、授業改善サイクルを循環させている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

中間アンケートの実施（後期の7～8回目に実施し、授業改善へ活用）
前期および後期の最終授業回に実施（年2回）

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ◇アンケートの集計結果を各学部ホームページ上で公開
- ◇学部ごとにリフレクションペーパーを作成し、学部学生センターおよび中央図書館等で閲覧できる体制をとっている。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本年は学科開設初年度であるため達成状況に関する総括評価は難しいが、今のところ順調に推移していると言える。入学試験については、入学定員120名に対して1,818名の志願があり、864名を合格とし、結果的に113名の新入生を迎えることになった。入学手続見込みが想定していたより伸びなかったためであるが次年度以降は、入学定員の充足に努めたい。
新入生に対しては、設置の趣旨・目的を実現するため、カリキュラムに則り、当初の計画どおり各授業を問題なく実施している。次年度以降も、教育課程及び教員組織をはじめとする設置計画について着実に履行していききたい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和4年4月1日 公表

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開

③ 認証評価を受ける計画

- ・令和3年度に公益財団法人大学基準協会の大学評価（認証評価）を受審し、令和4年3月に「適合」と認定
- ・令和10年度に公益財団法人大学基準協会の大学評価（認証評価）を受審予定

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和4年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

《aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト上に公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。